

國劇呆談

公演日誌 VOLUME 28

田中 康夫

浅田 彰

おはなにげ

尖閣諸島と竹島問題から、
原子力基本法の改正、
福島での甲状腺検査、
クリントンの演説まで！

ヤコイ・クサマ「パンク...」が人気のルイ・ヴィトン、
高島酒店のウイントウ前で、両氏は「草間彌生人形」と対面。

店内にあるアートスペースで展覧会を鑑賞した後、
場所を変え、尖閣問題を皮切りに、
日本の外交や安全保障の在り方を論じ合つた。

Photographs by Hiroshi Takaoka Text by Kentaro Matsui

事情が異なる領土問題で 試される日本の外交力

浅田 今回は小さな美術館の特集だけど、ファッショントアートの結びつきが強まつた結果、店の一部が美術館みたいになる例も増えてきた。銀座のエルメスのフォーラムとか、ここ表参道のエスパスルイ・ヴィトン東京とか。店のほうでも草間彌生デザインのラインが発表されたのを受けて彼女の蠅人形がウインドウに登場、なかなかの迫力だね。

田中 知事時代に県民栄誉賞を差し上げた草間彌生は松本の出身で、老いて益々、精力的に感服するね。隣町の伊丹市立美術館でも2年前に堀内誠一の回顧展を行っていたよ。

マガジンハウスになる前の平凡出版時代に『an・an』や『POPEYE』『BRUTUS』のアートディレクターとしてロゴタイプを手がけた彼は絵本作家としても著名で、谷川俊太郎の訳で『マザー・グースのうた』を出している。僕は小さい時分にホッペの紅色かけ』という彼の絵本が大好きで、エンジ太郎と呼んでいたのを思い出したよ。芸術員のセンスで美術館も一変するね。

浅田 さて、中国との間で領有権をめぐる争いになつて尖閣諸島は、結局、東京都じやなく国が購入することに。ただ、都知事の石原慎太郎が火をつけたこの騒ぎで中国が硬化し、にわかに緊張が高まつた。鄧小平が問題の先送りを示唆して以来、日本は

静かに実効支配を強化してればいいだけの話だったのに。韓国も李明博大統領が竹島

イントン東京とか。店のほうでも草間彌生デザインのラインが発表されたのを受けて彼女の蠅人形がウインドウに登場、なかなかの迫力だね。



に上陸して、ここでも緊張が高まつた。中國も韓国も、政権交代の時期を迎えて、国民の不満を反日で誘導したいんだろうけど、だからこそ日本は冷静に対処すべきなんで、無駄に緊張を煽るのは愚の骨頂だよ。

田中 所有者の栗原家は40億円もの負債を抱えていて、その足元を見た国から20億5000万円の

「表向きの」金額を提示されたことでクラッときた。「国には売らない」と言っていたのにね(苦笑)。『週刊文春』と『週刊金曜日』という対極のメディアが同じ指摘をしている、叩けば埃が出てくる一族。

浅田 石原の挑発が中国をいたずらに刺激しただけ。テレビ朝日の『報道ステーション』にコメンテーターとして出演した高橋源一郎が尖閣問題について「どうでもいい」と発言してバッシングを受けたけど、彼の言わんとするところは正論だと思うよ。日本にも中国にも市民にとって大事な問題があるのに、国家がどうでもいい末端の領土問題を持ち出してきて市民の関心を逸らして、と。坂本龍一の「たかが電気」発言と同じで「どうでもいい」って表現は挑発的過ぎるかもしれないし、政治家の言える言葉じゃないけど、作家なんだからいいんじゃない?

田中 とはいえ、物書きや芸術家も、自分の発した言葉がどうひとり歩きするかを考えから口に出さないと、感情的論争に巻き込まれちゃう。国という概念を抱くかぎり、いかなる主義の国であろうと、領土。

田中 とはいえ、物書きや芸術家も、自分の発した言葉がどうひとり歩きするかを考えから口に出さないと、感情的論争に巻き込まれちゃう。国という概念を抱くかぎり、いかなる主義の国であろうと、領土。

日本共産党の『しんぶん赤旗』が主張しているように、歴史的にも国際法的にも尖閣諸島が日本の領土であることは明らか

なので、先富論を唱えた鄧小平は経済優先の上でも日本の支援が必要だと考え、前向きな意味での「先送り」という知恵を出した。それを逆手にとつて、東シナ海ガス田開発、あるいは日本近海のメタンハイドレート開発の主導的役割を果たして、中国にも実利を与える高度な戦略を早期に立てべきだったのに、無為無策な日本は「先送り」を決め込んでしまっていた。国際司法裁判所=ICJに提訴して、用意周到に国際世論を味方に付ける方策もあつたのに、事なきれ主義な外務省が冷温停止状態で行動に移さなかつた。

それを、東京都が買うぞと唐突にワシントンで石原が発言し、親日的な台湾ですら不快感を表明せざるを得なくなつた。一方で野田政権は、石原が主張していた悪天候時の避難港と灯台も、高出力の無線基地を設置するのも、これは全ての国籍の船舶のための人道的整備だ、と中国側のエンドースを取る努力を先行すべきだったのに、政府が購入すれば低迷する支持率も急上昇するとKYな判断の下、札束を積み上げる地上げ屋のようなレベルでいわくつきの地権者と交渉の末、閣議決定も行い、火に油を注いでしまった。

実は、香港から船でやってきて魚釣島に上陸した連中は中国政府とは関係なく、むしろ、反中共的な市民運動家だったから、中国政府も困惑していたんだよ。当初は台湾の団体も合流して一緒に尖閣へ向かう予定だった。でも、国交こそないけど、経済で結ばれている中国に配慮して、総統の馬英九は同行を中止させた。今回の日本政府の動きは、対石原との主導権争いという

メスティックな政局レベルでの方策に過ぎず、それは对中国だけでなく、对台湾にとつてもマイナス要素でしかない。

現実問題、1995年には対米輸出額の6分の1だった日本の対中輸出額は2000年に逆転し、その差は拡大する一方。同じ95年には対日輸出額が対中輸出額の6倍に上っていたアメリカも、07年には逆転している。CIA長官から国防長官に転じたレオン・パネツタが防衛大臣の森本敏との共同会見で、「相対する主権に関する紛争は、いずれの国の肩も持たない。尖閣諸島の帰属に関して、米国は中立だ」と述べたのも、好むと好まざるとにかかわらず、中国が無視できない存在になつてきているからだよ。しかも、その後に中国を訪問したパネツタは、国防部長の梁光烈との会談で、日本メディアはスルーしたこと、「我々の目標は、米国と中国が世界で最も重要な2国間関係を確立することであり、その上でも緊密な軍事関係が鍵となる」と述べたと米軍の『星条旗新聞』が報じている。米国主導で隔年開催する「環太平洋合同演習(リムパック)2014」に中国を招待するとも言明している。今年のリムパックにはロシアも招待しているように、経済的にも財政的にも余裕がなくなってきた米国は、一国だけでは世界の警察官を果たし得ないと冷徹な認識を抱き始めている。

日米関係だけが特別だと思いつい込んでいる日本は、本当に島国なんだ。

韓首脳会談が開かれた時も竹島問題にはふれなかつた。今年2月の予算委員会で僕が質問すると、外務大臣レベルで話し合う事柄だと、驚くべき答弁をしている。誰も住んでいない竹島に、韓国側が巨大な棧橋を造つたり、なぜかファッシュンショニヨーを開いても遺憾の意を伝えただけ。四方を海に囲まれた日本は「領土・領海部」を内閣府に設置すべきだと予算委員会で提案しても、反応ゼロ。それは自民党政権時代から五十歩歩で、2008年に米国連邦政府の地名委員会が竹島を韓國領と記載した時、抗議しないのかと問われた当時の官房長官の町村信孝は「抗議を行う意思はない。なぜ必要なのか」と答えている。

中国も韓国も今年は「政権交代」の年だし、国内の反政府的な感情を眩ます目的も含んだ外交や防衛を行わざるを得ない。こ

うした悪い「先送り」をしてきたツケが一

気噴き出しているんだ。

浅田 他方、北方領土では、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領が、1955年の日ソ共同宣言を確認した上で、「引き分け」でいいじゃないかって言つてた。中韓の指導部と違い、プーチンはまだ強力な政権基盤をもつてるから、日本も柔軟に対応すれば、けつこう話が進む可能性はあるね。

4島一括返還にこだわって氣勢を上げてても話は進まないんで、とり

あえず2島返還に応じ、

共同である地域の

経済開発を行つていけば、

見通しが
開けるんじやないか。(浅田)

関係じや
ないと
思う。

高まりと無

共同である地域の経済開発を行つていけば、見通しが開けるんじやないか。

たしかに領土・領海は毅然と主張すべきだけど、日本の右翼が「國士」ぶつていたずらに騒ぐとか、相手国も反政府感情を反

田中 国家という概念を認めるなら、「国破れて山河在り」の以前に「人破れて国家在り」とならぬよう、現実に目の前にある「人の生活」はどうあるべきかを問題提起してこそ、眞の政治家なのには。その意味でも、高橋の「尖閣問題などどうでもいい」発言や、坂本の「たかが電気」発言は、先づ深まる、創造者としての芸術家のなパースペクティヴが求められていたんだけ

どね。

田中 康夫
たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。
一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。
長野県知事、参議院議員を経て、現在、衆議院議員・新党日本代表。

日感情にすりかえて騒ぐとか、そういう感情のぶつけ合いで緊張が高まるのは愚かとしか言いようがない。日本も、民主党政権が行き詰まり、政権交代を視野に入れた動きが激化する中、この「国難」を機に安倍晋三と橋下徹の右翼連合がささやかれるとか、ろくでもないことになつてきてる。今こそ冷静にならないと。



2008年に宇宙基本法が制定されたとき

も、「平和利用に限る」というそれまでの国会決議をオーヴアーライドする形で、「我が国」の安全保障に資することを目的として

同じ文言が盛り込まれた、そつちは明らかに偵察衛星を打ち上げたりするためのものだからね。もちろん原子力基本法には2条に「平和目的に限る」という規定が残つてたけど、「我が国の安全保障」なんて言えば、周辺諸国が敏感に反対するのは当然だよ。実際、右翼の間には、核をもつのが「大国」なんで、日本もいざとなれば軍事利用に転用できるような核能力を維持すべきだ、という暗黙の了解があり、それが脱原発にブレーキをかけてるわけだからね。

さらに言えど、「安全保障」のために情報公開を制限するという話になりかねないんで、これがまた大問題。

田中 旧科学技術庁を抱える文科省の思惑を利用して、核武装派がゾンビのように登場した悪夢だね。一般的に基本法というのは理念法で、罰則規定もないから役人にとつては屁でもなくて、実行法でなければ意味がない。以前に

田中 3・11直後の講演で、「放射能の影響はニコニコ笑つてる人は来ませ

ん。クヨクヨしてる人にも来ます。

これは明確な動物実験でわかつてます」と珍説を繰り返した

日本甲状腺学会理事長で、福島県立

医科大学副学長として県放射線健康リスク

管理アドバイザーを務める山下俊一は、毎

日新聞で「チエルノブイリ事故後、ウクライナでは健康影響をめぐる訴訟が多発し、

補償費用が国家予算を圧迫した。そうくなつたときの最終的な被害者は国民だ。日本といふ國が崩壊しないように導きたい」と言

い放つて。国民の安全を保障するよりも行政の面子を優先するトンデモ誤用

学者が福島県内の子どもの甲状腺検査を差配

してゐるんだよ。

すでに県内の、平均年齢10歳の子どもの4割近くに何らかの甲状腺異常が発見されていて、心配になつた父母が他県でももう一度検査を受けようとしたら、甲状腺学会が先回りして保険適用をするなどお触れを出している。その山下と「私的懇談会」を繰り返す細野豪志は、来年度から福島県内の子どもからDNAを採取し、「通常と異なる

制定された男女共同参画社会基本法と同じでお題目を言つてゐるに過ぎない。だけど、原子力基本法にそうした文言が入つていると、既得権益側はそれを拡大解釈して使つてはいけない。国民の側が求めている基本法は実効性がないけど、役所の側から出てくる基本法には要注意ってことだよ。

浅田 うん、宇宙基本法に続き原子力基本法に「我が国の安全保障」という文言が書き加えられた、そこには明確な意図を感じます。

田中 3・11直後の講演で、「放射能の影響はニコニコ笑つてる人は来ませ

ん。クヨクヨしてる人にも来ます。

これは明確な動物実験でわかつてます」と珍説を繰り返した

日本甲状腺学会理事長で、福島県立

医科大学副学長として県放射線健康リスク

管理アドバイザーを務める山下俊一は、毎日新聞で「チエルノブイリ事故後、ウクライナでは健康影響をめぐる訴訟が多発し、

補償費用が国家予算を圧迫した。そうくなつたときの最終的な被害者は国民だ。日本といふ國が崩壊しないように導きたい」と言

い放つて。国民の安全を保障するよりも行政の面子を優先するトンデモ誤用

学者が福島県内の子どもの甲状腺検査を差配

してゐるんだよ。

すでに県内の、平均年齢10歳の子どもの4割近くに何らかの甲状腺異常が発見されていて、心配になつた父母が他県でももう一度検査を受けようとしたら、甲状腺学会が先回りして保険適用をするなどお触れを出している。その山下と「私的懇談会」を繰り返す細野豪志は、来年度から福島県内の子どもからDNAを採取し、「通常と異なる

塩基配列や遺伝子の異常を見付け、「被曝が人間の遺伝子に与える影響を調べる」「ゲノム＝全遺伝子情報」の解析調査に乗り出すと言い出し、環境省は数十億円の予算を概算要求した。

「すぐに不安の解消には繋がらないかもしれないが、人間の根源的な遺伝子を調べることで将来への予防になる」と胸を張るの

だから、彼のオツムこそX線CT検査すべきだよ。洪水の危険性が高い地域に多くの住民が暮らしているのに、すぐに実施可能な住民避難も堤防強化も家屋移転も行わず、数十年後に完成予定のダム建設に向けて多額の調査費を計上しているような本末転倒。住民をモルモット化する話だ。

チエルノブリでは子どもを中心にならざ。ところが、日本では、5mSv/年を超えて居住可能。「福島に寄り添う」と事ある毎に高言する細野は逆に、20mSv/年以下も避難指示解除準備区域としたんだから、福島の避難基準は、チエルノブリよりも4倍も「高い」もとい「緩い」んだ。

福島市が行つた市民意識調査で、「今でも避難したい」と34%が考え、既に市外に避難した46%が「戻りたくない」と回答しているのは、政府を信用していない表れ。前回も紹介した、田中正造的骨の持ち主として僕が敬愛する井戸川克隆・双葉町長は、「町全域を帰還困難区域に指定すべき」と避難先の加須市に設けた双葉町役場埼玉支所から政府に要望しているけど、当然だよ。

浅田 そう、「我が国の安全保障」よりも大事なのは「人間の安全保障」なんで、そのためには、不完全な除染なんか

現実に目の前にある

「人の生活」は

どうあるべきかを
問題提起してこそ、
真の政治家なのにね。(田中)

より、集団移住を考えたほうがいい。もちろん、「福島原発の第一サテイアン」を放射性物質の処分場にするほかないという石原伸晃の暴言には唖然としたけれど、20キロ圏内でもいつかは戻れるかもしれないなん

ていう幻想を与えることは、同じくらいひひどい虚言だと思うよ。

ビル・クリントン元大統領の 推薦演説がスゴイ

浅田 橋下徹大阪市長が新党「日本維新の会」を結成して国政に進出すると宣言した。

民主党その他を脱党した国会議員9人が加盟する衆院選では過半数の議席獲得を

目指すなんて言つて。われわれは橋下の「大阪的合理主義」には見るべきところも

あると認めてきたわけだけど、ここにきて右翼的な色合いを強め、安倍晋三との連携

が取り沙汰されたりする状況は、非常に危険だね。

田中 橋下は大阪を「都」にしたがつて、けど、「都」は首都であつて、保守系の人間

からすると天皇が住んでいる御座所のこと。彼が大阪こそ都と呼ぶに相

を再建することが急務だと思うね。一方、11月のアメリカ大統領選を控え、共和党がミット・ロムニー、民主党がバラク・オバマ大統領を候補として正式指名したけど、オバマの演説よりビル・クリントン元大統領の推薦演説のほうが印象に残ったな。データを引きながら、とくに経済面でオバマ政権がいかに功績を上げたかを具体的に説いていくんだけど、ひとり

いとは、自分は徳川吉宗の御落胤だと言ふ。吉宗は大阪都構想に対しても

と戯い触らしていた山伏の天一坊改行みたいな話

ですね。保守系は大阪都構想に対しても

つと怒るべしでしょ。橋下や府知事の松井一郎の側も、名より実を取つて「大阪府」のまま改革すればいいのにね。「都」という名前にこだわりすぎると、地方分権を掲げながら新たな中央集権をつくり出す下心と取られちやうよ。

その橋下に、都構想法案や消費増税を通したことでの「決められる政治を行つていてすごい」と褒められた野田は、予定調和のよう内向的な民主党代表選の直後に、「私心は全くない」と明言できます。真に国家と国民を愛

しています」と挨拶したでしょ。確かに自分の意志も哲学もないから、私心はないよ(苦笑)。でも、国民を愛しているとは到底、思えない。財務省やアメリカや経團連の思惑で「決めさせられている政治」だもの。

子どもを守れと集まつた脱原発派からも、尖閣を守れと集まつた嫌中派からも「辞めろ」コールの大合唱になつた新宿西口の街頭演説でも、"屁の河童"だつた鈍感さには、別の意味で尊敬するけどね。

田中 政党がほとんど機能してないから、橋下新党のような第三極に過剰な期待が集まる。民主党・自民党の党首選の結果がどうあれ、政界再編を経てまともな政党政治

浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。

京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学大学院長。83年に出版されたデビュー作『構造と力一記号論を超えて』はベストセラーに。

浅田 彰

6世代を抜擢・育成している。その戦略性には舌を巻く。出たとこ勝負でロシアンルーレットのように、その場しのぎの出来の悪い首相が誕生し続ける、どこかの国とは大違ひだ。